

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (965), 課コード (1004), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns: 現状, 評価コメント, 改善案及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	966	課コード	1004	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策 □経常 ■なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防体制の強化・充実 個別事業 火災予防業務	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	消防本部・西消防署					
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市								
	⑤事業期間	~	⑥担当職員数	83人 (換算人数) 12.71人								
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初) 110,577千円 (うち人件費 110,577千円)								
	⑧施策の位置づけ	施策コード 70201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無					
(2) 目的	施策目的・展開方向	火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。			事業目的	市民の防火に対する意識・意欲を高める事により、地域格差の無い自主防災意識の確立を図り、災害を最小限度に抑える。						
(3) 事業内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅用火災警報器の設置の推進及び維持管理指導。</li> <li>自衛消防訓練等で避難訓練・消火訓練及び防災資機材の取扱い指導。</li> <li>火災発生時に原因の究明のための火災原因調査。</li> <li>火災を予防するための広報活動。</li> </ul>			当該年度執行計画	随時：自衛消防訓練 火災発生時：火災原因調査 春・秋：火災予防運動 6月：住宅用火災警報器の設置率調査 通年：火災予防広報						
		当該年度活動結果指標	自衛消防訓練実施件数 (消火・避難・通報)			単位	件	想定値	800	実績値	445	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該年度	火災予防活動を推進し、火災発生件数を減少する。			直接	自衛消防訓練実施件数 (消火・避難・通報)		件	768	800			
令和3年度	火災予防活動を推進し、火災発生件数を減少する。			直接	自衛消防訓練実施件数 (消火・避難・通報)		件		800			
令和4年度	火災予防活動を推進し、火災発生件数を減少する。			直接	自衛消防訓練実施件数 (消火・避難・通報)		件		800			
(7) 事業実施上の課題と対応	市民の協力が不可欠だが意識・意欲の格差が大きいため、広報及び事前通知を強化し臨機応変な対応が必要となる。			代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		住宅用火災警報器の設置の推進 自衛消防訓練 火災原因調査 広報活動			住宅用火災警報器の設置の推進 自衛消防訓練 火災原因調査 広報活動				住宅用火災警報器の設置の推進 自衛消防訓練 火災原因調査 広報活動			
		住宅用火災警報器の設置の推進 自衛消防訓練 火災原因調査 広報活動			住宅用火災警報器の設置の推進 自衛消防訓練 火災原因調査 広報活動				住宅用火災警報器の設置の推進 自衛消防訓練 火災原因調査 広報活動			
		住宅用火災警報器の設置の推進 自衛消防訓練 火災原因調査 広報活動			住宅用火災警報器の設置の推進 自衛消防訓練 火災原因調査 広報活動				住宅用火災警報器の設置の推進 自衛消防訓練 火災原因調査 広報活動			
(9) 財源内訳	予算(決算)額	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0			
(10) 人件費等	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0			
	一般財源		0		0		0		0			
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0			
換算人数(人)		12.06		12.71		12.71		12.71				
正職員人件費		106,128		110,577		110,577		110,577				
嘱託職員報酬額		0		0		0		0				
臨時職員賃金額		0		0		0		0				
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		106,128		110,577		110,577		110,577				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		132.66千円/件		138.22千円/件		248.49						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	消防法及び火災予防条例の改正により一般住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化となつてから、普及促進及び維持管理指導に取り組んでいるが、継続的に実施することで、市民の防火に対する意識・意欲を高めることになる。また、訓練等を推進することで自主防災組織の地域格差を無くし、災害を最小限に抑えることができることから、市民の安全のために必要である。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 火災の発生を減少するために必要不可欠である。				○要 ●不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他  ○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となつたことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 住宅用火災警報器の普及促進及び維持管理指導については、消防法及び火災予防条例に基づき、積極的に実施する必要がある。また、訓練等を推進することで自主防災意識の高揚を図ることができるため必要性がある。
参加・協働の工夫	参加・協働の内容				実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				改善検討	
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり) ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				なし				○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	○要 ●不要
環境への配慮	配慮の視点				実施した具体的な内容				改善検討	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				なし				●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>	○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ●②目標値未達成			
	768	800	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(件)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、自衛消防訓練出向が困難となったため。			
					445	55.63				
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過			
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 ■⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>				
	110,577	△4,449	<削減の内容>		110,577	100	<超過理由等>			
事業費削減率(%)		△4.19								
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ●③目標値以下			
	0.72	単位 費用単位 件 10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、自衛消防訓練回数が減少した。			
				0.4	55.56					

3. 事後評価									
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価コメント	改善策及び展開方向
本事業は住宅用火災警報器の設置指導や自衛消防訓練における防火指導等、火災を未然に防ぎ市民の生命と財産を守るために重要な事業であるため、今後も現状どおり推進していく。	

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (967), 課コード (1004), 会計種別, 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and goals.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (968), 課コード (1004), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including purpose, content, goals, and implementation schedule.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード 1647 課コード 1004 会計種別 一般会計 予算の種類 □政策 □経常 ■なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 消防体制の強化・充実, ②事業主体 ●市 ○その他, ③事業期間 ~, ④対象地区 □我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市, ⑤担当職員数 83人 (換算人数 5.7人), ⑥事業費 (人件費含む) 総事業費 0千円, ⑦当該(開始)年度 (当初) 49,590千円 (うち人件費 49,590千円), (変更後) 千円 (うち人件費 千円), ⑧施策の位置づけ 施策コード 70201, 重点プロジェクトへの位置づけ 重点なし, 基本計画地区別計画への位置づけ ○有 ●無, 部門別計画への位置づけ (計画名)
(2) 目的: 施策目的・展開方向 火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。 事業目的 消防活動に重要な施設である消防水利の維持管理を行うことにより、迅速で効果的な消防活動体制を整え、火災等から被害の軽減を図る。
(3) 事業内容: 内容 消防法第二十条第二項の規定及び、消防水利の基準に基づき、計画的に消防水利の維持管理を行い、火災発生時に支障が生じないようにする。また、消防水利の点検は、毎月行い、点検時に有効水圧、蓋開閉確認及び水漏れ等の確認をする。 当該年度執行計画 毎月 消防水利点検
(4) 達成目標(期待する成果): 達成目標(期待する成果) 指標種類 指標 単位 (5)現況値 (6)目標値
(7) 事業実施上の課題と対応: 消防水利を点検し不備があった場合、その都度、修繕依頼を行っているが、同時期に設置された消防水利も多く、老朽時期が重なってしまうことがある。計画的な修繕や更新が必要である。 代替案検討 ○有 ●無

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目 事前評価 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)) 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性) ●事前確認での想定どおり ○事前確認での想定どおりでなかった
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) ●民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 <その他の内容>
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 参加・協働の内容 工夫の具体的な内容
(4) 環境に配慮して事業を進めているか? 配慮の視点 取組む内容
(5) 目標設定は適切か? 現況値(a)(%) 目標値(b)(%) 目標値の妥当性のチェック
(6) 事業費削減の工夫をしているか? 対策実施による事業費削減 実施予定の対策
(7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用) 目標値対事業費(e) 計算方法

3. 事後評価

●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント 本事業は、火災等の災害から市民の生命と財産を守るという目標を達成するために必要不可欠な事業となっていることから、今後も現状どおり推進していく。 改善案及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード 1648 課コード 1004 会計種別 一般会計 予算の種類 □政策 □経常 ■なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 消防体制の強化・充実, ②事業種別 消防機械器具の維持管理, ③事業主体 市, ④対象地区 我孫子, ⑤事業期間 ~, ⑥担当職員数 83人, ⑦事業費 0千円, ⑧施策の位置づけ 70201
(2) 目的: 火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため...
(3) 事業内容: 資機材等の点検及び、維持管理を継続的に実施し...
(4) 達成目標 (期待する成果): 達成目標 (期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応: 多くの資機材を維持及び増強するためには、消耗品や修繕等、維持管理にかかる費用の無駄を省く必要がある。

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は? (2) 市が実施する必要性はあるか? (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (4) 環境に配慮して事業を進めているか? (5) 目標設定は適切か? (6) 事業費削減の工夫をしているか? (7) 目標値を実現するために投じた事業費は適正か?

3. 事後評価

●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント: 本事業は、消防機械器具取扱規程に基づき実施しており、各種災害から市民の生命、身体、財産を守るためにも必要不可欠であり、今後も現状どおり推進していく。
改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1660), 課コード (1004), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including name, objectives, budget, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, environment, and efficiency, each with a rating (Required/Not Required).

3. 事後評価 - Post-evaluation section including implementation status and improvement directions.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード 1662 課コード 1004 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 消防体制の強化・充実, ②実施計画への位置づけ ○有 ●無, ③事業主体 ●市 ○その他, ④対象地区 □我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市, ⑤事業期間 ~, ⑥担当職員数 83人 (換算人数 4.25人), ⑦事業費 (人件費含む) 総事業費 0千円, ⑧施策の位置づけ 施策コード 70201, 重点プロジェクトへの位置づけ 重点なし

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性), (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性), (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり), (4) 環境への配慮, (5) 目標設定は適切か?, (6) 事業費削減の工夫をしているか?, (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント: 火災もしくは犯罪の発生を軽減するため、空き地の適正管理指導を現状どおり推進していく。
改善策及び展開方向



事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1680	課コード	1004	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)															
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防体制の強化・充実	実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	消防本部・西消防署								
	③事業主体	個別事業 消防立入検査業務	④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市											
	⑤事業期間	●市 ○その他 ( )	⑥担当職員数	83人 (換算人数)		3.59人									
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初)	31,233千円 (うち人件費 31,233千円)										
	⑧施策の位置づけ	施策コード 70201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)						
(2) 目的	施策目的・展開方向	火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。			事業目的	市内防火対象物に対し立入検査を実施し、自主防火管理の充実を働きかけ防火安全の確保を図る。									
(3) 事業内容	内容	消防法第4条、第16条の5及び我孫子市予防検査規程に基づき、年間定期検査計画をたて、市内防火対象物に対し立入検査を実施する。防火管理の状況や消防用設備等の管理状況が適正であるかどうか確認し不備がある場合には立入検査結果通知書により指摘し改修計画書により是正を促す。また、重大な消防法令違反に対しては公表制度に則り、違反のある建物の情報を公表することで是正の徹底を図る。			当該年度執行計画	年間定期検査計画に基づき：防火対象物の立入検査実施 3月：次年度の年間定期検査計画の作成 通年：違反対象物に対して追跡調査の実施 通年：公表の対象となる違反が認められる対象物に対して違反内容等の情報を報告・公表									
		当該年度活動結果指標	立入検査の実施率 (立入検査実施件数/年間定期検査計画数)	単位	件	想定値	100		実績値	50					
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値						
当該年度	立入検査を実施し関係者の防火意識の向上を図る。			直接	立入検査の実施率 (立入検査実施件数/年間定期検査計画数)		%	94.6	100						
令和3年度	立入検査を実施し関係者の防火意識の向上を図る。			直接	立入検査の実施率 (立入検査実施件数/年間定期検査計画数)		%		100						
令和4年度	立入検査を実施し関係者の防火意識の向上を図る。			直接	立入検査の実施率 (立入検査実施件数/年間定期検査計画数)		%		100						
(7) 事業実施上の課題と対応	関係者の防火管理に対する認識が低いケースが見受けられるため、防火管理の徹底を図らせ、火災予防の重要性を認識させる必要がある。			代替案検討	○有 ●無										
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度							
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			立入検査の実施 自主防災管理の充実に向けた働きかけ			立入検査の実施 自主防災管理の充実に向けた働きかけ					立入検査の実施 自主防災管理の充実に向けた働きかけ				立入検査の実施 自主防災管理の充実に向けた働きかけ
		予算(決算)額	合計		0	合計		0	0	合計		0	合計		0
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0		
	一般財源			0			0			0			0		
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	3.36		3.59		3.59		3.59							
	正職員人件費	29,568		31,233		31,233		31,233							
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0							
	臨時職員賃金額	0		0		0		0							
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	29,568		31,233		31,233		31,233								
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	295.68千円/件		312.33千円/件		624.66										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	消防法、火災予防条例に基づく事務事業のため、必要である。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要	
	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 法令等で市が実施することが定められ、火災の予防に必要があるため。			
(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	●②自治体である市が推進すべきである (理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		<その他の内容>				○要 ●不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他				なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>			
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他				なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>			
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (%)	目標値(b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率 (%)		○①目標達成 ●②目標未達成		
	94.6	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (%)	(f/b) × 100		<目標を達成した理由/未達成となった原因> 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い検査を見合わせたため、立入検査実施件数が減少した。		
					50	50				
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		○要 ●不要	
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100		●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		
	31,233	△1,665	<削減の内容>		31,233	100		<超過理由等>		
事業費削減率 (%)		△5.63								
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ●③目標値以下		○要 ●不要	
	0.32	単位 費用単位 %	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値 (%) (h/e) × 100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い検査を見合わせたため、立入検査実施件数が減少した。		
		10万円				0.16		50		

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	本事業は、防火対象物の立入検査を実施することで、火災から人命への危険を事前に排除し、火災が発生した場合の被害を最小限にすることを目的としていることから必要不可欠な事業であり、今後も現状どおり推進していく。									